

# ほけんがどまりの月



9月に入り朝夕だいぶ涼しくなってきましたが、日中はまだ暑い日が続いています。「先生だるい」「暑くて気分が悪い」など体調を崩して保健室を訪れる生徒が多くなっています。さて、前期期末考査も終わりましたが、勉強や夏の疲れが出やすい時期でもあります。いつも以上に体調管理に留意するようにしましょう。

今年は何年にもなく台風の発生が多発しています。8月下旬には、大型の台風10号が発生し東北地方や北海道に甚大な被害をもたらしました。また9月も引き続き大気が不安定になりやすく、台風が心配される時期でもあります。気象情報に良く注意しながら学校生活を送りましょう。

## 台風の大きさと強さ

階級	最大風速
強い	33 m/s 以上～44 m/s 未満
非常に強い	44 m/s 以上～54 m/s 未満
猛烈な	54 m/s 以上

階級	風速 15 m/s 以上の半径
大型	500 km 以上～800 km 未満
超大型	800 km 以上

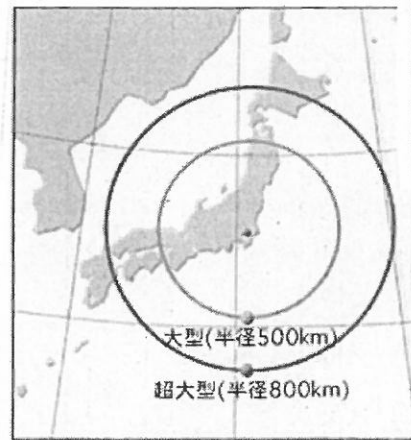
熱帯の海の上で生まれた低気圧のうち、最大風力(10分間平均)およそ17 m/s 以上のものを「台風」といいます。  
(日本列島の長はおよそ3000 kmです。)

## 南からUターン 異例の進路

強い台風10号は29日、日本列島の南海上を北寄りに進んだ。暴風域を伴ったまま30日夕にも東北に接近し、上陸する恐れがある。局地的に猛烈な雨が降り、非常に強い風が吹くとして気象庁が土砂災害や河川の氾濫に厳重な警戒を呼び掛けている。【16、22、23面に関連記事】

# 台風10号きょう上陸

## 東北、猛烈な雨に警戒



台風の大きさと日本列島

<平成28年8月30日福島民友より>

- 台風への備えは上陸する前に行いましょう。早めの対応が重要です。
- 台風の接近や上陸によって暴風雨になったら
  - <外へ出ない>
- 台風の際は、建物内で通り過ぎるのを待つのが基本です。通過しているときは、外に出ないようにし、河川や用水路の見回りはやめること。家の補修等は、台風が近づく前に済ませておく。
- <高い場所に避難することも考える>
- 地下施設等に居るときなどは、実際外で降っている雨の状況が分りにくいため、地上が冠水すると避難経路から一気に水が流れ込み、地上に出ることが困難になる恐れがある。
- <流れている水に近づかない>
- 河川や用水路の水があふれ、その周辺にも激しい水の流れることもある。マンホールや用水路のフタが開いていても、水があふれて気づかずに落ちてしまうケースも多くある。急な増水の恐れがあり、雨がやんだ後でも下流の河川があふれる事もある。
- <気象協会ホームページより>



もしものときに冷静に行動できるように、日頃から「防災」についての意識をしっかりと持ってください。

<p>避難する場所や連絡先をしっかりと覚えておきましょう</p>	<p>日頃から家族や友人と災害時の行動についてきちんと話し合っておきましょう</p>	<p>非常時の持ち出し品をきちんと用意しておきましょう</p>
----------------------------------	--	---------------------------------